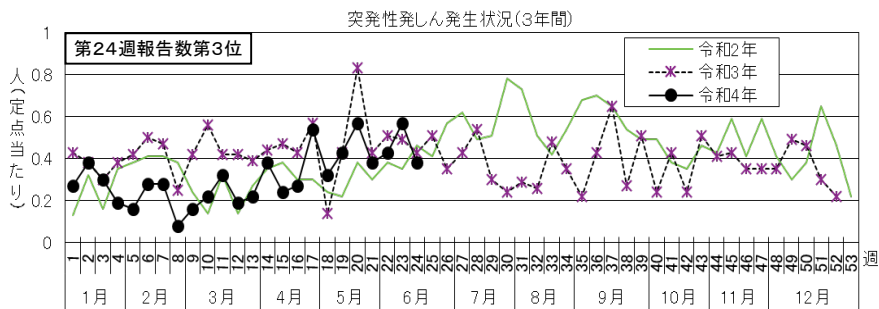
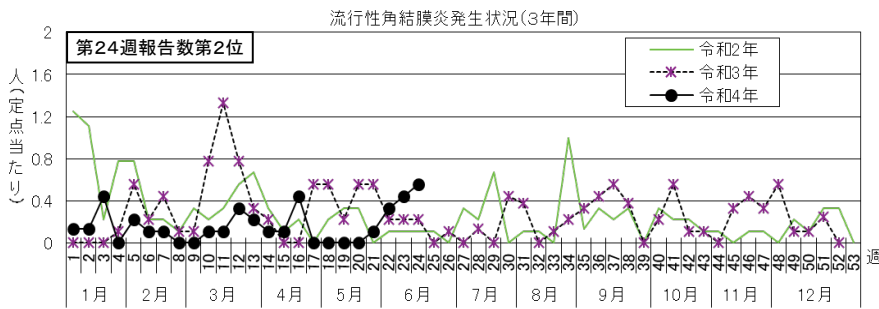
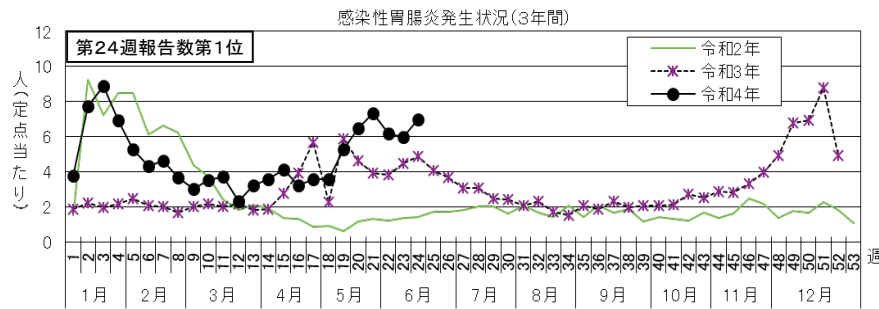


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年6月13日（月）～令和4年6月19日（日）〔令和4年第24週〕の感染症発生状況

第24週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) 突発性発しんでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.00人と前週（5.97人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週（0.44人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.57人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



## 新型コロナウイルス感染症～「り患後症状」について～

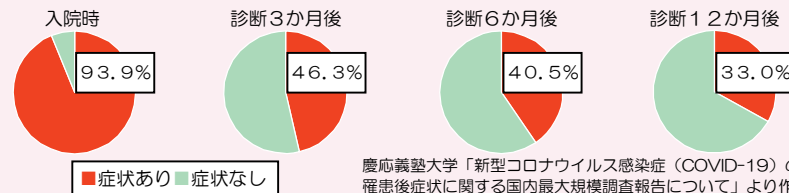
新型コロナウイルス感染症は、り患後に様々な症状を認めることが分かってきました。国内で行われた調査によると、診断後3か月時点では、女性に高頻度に症状がみられましたが、男女の差は経過とともに小さくなりました。若年者には脱毛、嗅覚障害、頭痛が多く、高齢者には筋力低下、咳、関節痛が多い傾向が認められました。り患後症状の中には、発症から12か月を過ぎても症状が残る場合もあり、症状が1つでも続くと睡眠障害や不安から、生活の質を下げることがあります。多くは経過とともに軽快する傾向にあるとされていますが、気になる症状が続く場合は医療機関への受診をお勧めします。

（詳細は川崎市ホームページをご覧ください。 <https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000134505.html>）

り患後症状は、新型コロナウイルス感染症が軽症であってもみられますので、基本的な感染対策を徹底し、新型コロナウイルスに感染しないようにしましょう。

### 新型コロナウイルス感染症入院例における「り患後症状」の経時的変化

— 全国27施設において、2020年1月から2021年2月末日までに、PCR検査若しくは抗原検査陽性で入院した18歳以上の患者1000例規模の症例を対象とする研究結果 —



### 代表的な「り患後症状」

**全身症状**  
 倦怠感、関節痛、筋肉痛

**呼吸器症状**  
 咳、喀痰、息切れ、胸痛

**精神・神経症状**  
 記憶障害、集中力低下、不眠、頭痛、抑うつ

**その他の症状**  
 味覚障害、嗅覚障害、動悸、下痢、腹痛